

|                  |   |              |              |
|------------------|---|--------------|--------------|
| 授業科目名<br>( 英文名 ) | シミュレーション学概説   | 科目区分<br>対象学生 |              |
| 単位数              | 2.00  | 開講年次・<br>学期  | 1年次・前期       |
| 担当教員             | 永野 康行<br>藤原 義久<br>中村 知道<br>大野 暢亮<br>木村 真<br>沼田 龍介<br>安田 修悟<br>島 伸一郎<br>土居秀幸<br>井上寛康<br>鷺津仁志<br>畑 豊  | 所属           | シミュレーション学研究科 |
| オフィス・場所          |   | 連絡先          |              |
| 講義目的及び到達目標       | Simulation Studies「シミュレーション学」は、理論や実験と並ぶ方法論として、自然科学だけにとどまらず、社会の持続可能性や環境問題など現実の課題解決への応用が期待されている。シミュレーション学とは、自然科学から社会科学まで科学的な方法論としてシミュレーションを活用していくものである。本講義は、各分野のシミュレーションの具体的な活用方法について基礎力を身につけ、修士研究を進めていくための素地を整えることを目的とする。研究室配属決定後は、各主指導教員から指導を受けながら各分野における基礎学力を身につけ、修士研究を進めていくための基礎学力を身につけることを到達目標としている。   |              |              |
| 講義内容・授業計画        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション：本講義の目的と意義（教務委員長）<br/>研究科の計算機器のガイダンス（情報システム委員）</li> <li>2. 文献調査に関するリテラシー（図書委員）</li> <li>3. 研究倫理（研究科長）</li> <li>4. 本研究科の教育ポリシーにおける研究室配属の意義を説明（教務委員長）<br/>研究室配属アンケートの実施</li> <li>5. ~ 15. 配属された各主指導教員から指導を受けながら、各分野における基礎学力を身につけ、修士研究を進めていくための素地を整える。その際、学術論文（英文論文等）を読みレジュメをまとめた発表や、過去の学術研究をサーベイしてレポートを書くといったトレーニングを各研究室において実践する（全教員）</li> </ol> |              |              |
| テキスト             | プリントと冊子を使用  |              |              |
| 参考文献             | 適宜紹介する。   |              |              |
| 成績評価の基準・方法       | 学生の習熟度と学習態度により、総合的に評価する。評価が60点以上のものを合格とする。  |              |              |
| 履修上の注意・履修要件      | <p>講義内容を十分に復習し、整理し、理解するように努めること。また、自分の手で実際に試すことが重要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</li> </ul>  |              |              |

|       |        |
|-------|--------|
| 実践的教育 | 該当しない。 |
| 備考    |        |